

【近所付き合いの希薄】

課題	課題解決のアイデア			
	あま市	住民	社協	団体
1：ほとんど家にとじこもっている			・社協の安心安全ネットワーク事業の活用（見守り、安心電話とか）	
3：近所付き合いが少なくなってきた		<ul style="list-style-type: none"> ・あいさつの励行。声をかけあう習慣をつける ・あいさつを進んでする ・町内会の案内などの際に、近所を紹介する ・協力の必要性を伝える ・町内の子供向けのイベントなどをメインに伝える 		<ul style="list-style-type: none"> ・オープンに行ける場所を作る。そこに行くと、何か出来る。趣味的なことに参加できる、おしゃべりが出来るような場所
4：近所の方の名前と顔がわからない		<ul style="list-style-type: none"> ・町内会の案内などの際に、近所を紹介する ・協力の必要性を伝える ・町内の子供向けのイベントなどをメインに伝える 		<ul style="list-style-type: none"> ・オープンに行ける場所を作る。そこに行くと、何か出来る。趣味的なことに参加できる、おしゃべりが出来るような場所 ・お祭とか家族が参加できるイベントをする
5：他に興味を持たない				<ul style="list-style-type: none"> ・オープンに行ける場所を作る。そこに行くと、何か出来る。趣味的なことに参加できる、おしゃべりが出来るような場所
6：世代間の交流が少ないように思える		<ul style="list-style-type: none"> ・町内会での事業で世代間でコミュニケーションがはかれる事業を発掘していく 		<ul style="list-style-type: none"> ・夏祭りなど地域のイベントを増やす ・各世代を入れて出来るスポーツを取り入れる
8：町内会への加入者が減ってきた		<ul style="list-style-type: none"> ・町内会加入のメリットをできるだけ発信していく ・町内会の案内などの際に、近所を紹介する ・協力の必要性を伝える ・町内の子供向けのイベントなどをメインに伝える 		

Aグループ

課題	課題解決のアイデア			
	あま市	住民	社協	団体
11: 健常者と障がい者の交流の場		・市役所を中心に障害者が地域に出られる機会を作る。増やす 例：市役所での物販や地域事業の一部を障害者施設へ委託するなど	・偏見・差別をなくす ・小さい時からのふれあい	・その場限りになってしまっているため、定期的に場所等を決めて進める
12: 移住者(若い世代)との関わりが希薄				・お祭とか家族が参加できるイベントをする
13: 自治会への加入が難しくなっている		・加入すれば特典があるようにする		
14: 近所付き合いが少ない。ない。		・加入すれば特典があるようにする		・オープンに行ける場所を作る。そこに行くと、何か出来る。趣味的なことに参加できる、おしゃべりが出来るような場所 ・お祭とか家族が参加できるイベントをする
15: 近所の人をあまり知らない				・オープンに行ける場所を作る。そこに行くと、何か出来る。趣味的なことに参加できる、おしゃべりが出来るような場所
16: 障がいを持つ人の地域参加が少ない	・地域参加しやすい環境づくり。バリアフリーや介添人や付き添い者の確保	・市役所を中心に障害者が地域に出られる機会を作る。増やす 例：市役所での物販や地域事業の一部を障害者施設へ委託するなど	・偏見・差別をなくす ・小さい時からのふれあい	
17: 個人情報の不足(個人情報保護法が壁となっている)。今、地区では近所の人死亡してもわからないことが多い	・個人情報保護法は特例な場合がある時は開示を認められている事を知ってほしい ・個人情報を保護することも大切だが一定の情報共有は助け合いには必要。情報の開示が地域にどこまでできるか、市に検討願いたい			

Aグループ

課題	課題解決のアイデア			
	あま市	住民	社協	団体
18：介護者を介護（相談できる人）ができるようなシステム、人と人とのつながりが必要	・地域で介護の困りごとを相談できる人を立てる。※ケアマネなどではなく、地域目線で動ける人			・家から出なくてもつながりが持てるシステム。SNSの利用
19：障がいを持つ親のコミュニティーが不足	・あま市独自の障害福祉情報発信。SNSアカウントを作成・発信		・偏見・差別をなくす ・小さい時からのふれあい	
20：インクルーシブな居場所づくり			・偏見・差別をなくす ・小さい時からのふれあい	

Aグループ

【人材確保】

課題	課題解決のアイデア	
	あま市	団体
2：ボランティアグループ内の人数が減っている	<ul style="list-style-type: none">・ボランティアの目的として自己欲求、達成感、実現が大切であるという周知・研修・市が勉強会を開く・広報の充実をする。どんなボランティアがあるのか。どんなボランティアを必要としているのか。それがわかる場所を知らせる	<ul style="list-style-type: none">・どこの団体が募集しているか知られていない→掲示板、口コミ
3：障がいを持つ親へのサポートが不足（情報不足）	<ul style="list-style-type: none">・市役所、社協が民間の支援団体と連携する・“ここに行けば情報がもらえる”という場を作る。コンシェルジュのような人がいるといい。市役所や福祉施設	<ul style="list-style-type: none">・情報は流れているけれど親の受け止め方がさまざま（高齢化も進んでいるので）（障害介護にもつながっている）親の会会員からの声かけ

Aグループ

【防犯防災】

課題	課題解決のアイデア			
	あま市	住民	団体	未分類
1：安全な街	<ul style="list-style-type: none"> ・スクールガードなどを町内会などへ有償委託する。 →地域の人が街頭に立つ機会が増える →あいさつ等、顔見知りが増える ・外灯の増設 ・家の電話を災害時に連絡してもらえるよう市に申込みをする 	<ul style="list-style-type: none"> ・スクールガードなどを町内会などへ有償委託する。 →地域の人が街頭に立つ機会が増える →あいさつ等、顔見知りが増える 		
2：高齢者をターゲットとした新しい犯罪が増加している	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者宅の電話に録音機の設定 ・地域見守り隊の創設 			
3：防災訓練が地域でバラバラ、差がある	<ul style="list-style-type: none"> ・防災訓練、自主防災の統括が必要 		<ul style="list-style-type: none"> ・地域によって活発な内容で行われている所もあるのでその方達に自主防災の役員(?)にアドバイスの場を設けてもらう 	
4：自主防災を活発に	<ul style="list-style-type: none"> ・防災訓練、自主防災の統括が必要 	<ul style="list-style-type: none"> ・スクールガードなどを町内会などへ有償委託する。 →地域の人が街頭に立つ機会が増える →あいさつ等、顔見知りが増える 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域によって活発な内容で行われている所もあるのでその方達に自主防災の役員(?)にアドバイスの場を設けてもらう 	
6：災害時、むこう三軒両隣での避難		<ul style="list-style-type: none"> ・町内会への加入促進 ・どういう人が住んでいるのかの情報の共有化 		

Aグループ

課題	課題解決のアイデア			
	あま市	住民	団体	未分類
7：避難所を明確に	<ul style="list-style-type: none"> ・役所からの発信 ・町内で回覧板での発信 ・地域の防災訓練での確認 ・市役所が避難所の場所をわかりやすくする ・市へ。防犯灯や通学路の安全は要望してもなかなか行ってもらえない。早くしてほしい 			<ul style="list-style-type: none"> ・地元の神社・寺などを廻り、歴史を知るキッカケを作る
8：災害時の避難場所がわからない	<ul style="list-style-type: none"> ・役所からの発信 ・町内で回覧板での発信 ・地域の防災訓練での確認 ・市役所が避難所の場所をわかりやすくする ・市へ。防犯灯や通学路の安全は要望してもなかなか行ってもらえない。早くしてほしい 		<ul style="list-style-type: none"> ・避難体験会 例：避難所に一泊してみよう 	<ul style="list-style-type: none"> ・地元の神社・寺などを廻り、歴史を知るキッカケを作る

Aグループ

【情報】

課題	課題解決のアイデア		
	あま市	社協	地域
1：新しいことというとい。SNS、ネット、人づきあい	・講習会を開く	・高齢者向けパソコン、スマホ教室。出前教室の開催	・各世代間でゲーム等からスマホ等のあつかに慣れる
2：ほしい情報の取り方がわからない	・講習会を行政が民間（専門職）と連携して市民にアピールする ・講習会を開く ・役所も含め、わかりやすいHP作りや情報提供		・身近なことに興味をもつ→小さな地域ごとの取り組み、キャリア、店との協力
3：自分の時代と今のやり方が違うことに戸惑う（子育て。環境）	・講習会を開く		・各世代間でゲーム等からスマホ等のあつかに慣れる
4：国全体がSNS等、デジタルの推進が計られているが、高齢者が追いついていけない現状がある	・講習会を行政が民間（専門職）と連携して市民にアピールする ・講習会を開く ・IT化が進んでいるが、当座はアナログ的手法も並行して必要ではないか ・スマホ等の教室や地域の掲示板に情報を貼るなど、アナログな周知も必要	・高齢者向けパソコン、スマホ教室。出前教室の開催	・SNSやラインでやりとりをしているので対面で話し合いができると意思疎通が出来ると思う ・身近なことに興味をもつ→小さな地域ごとの取り組み、キャリア、店との協力

Aグループ

【介護】

課題	課題解決のアイデア		
	あま市	社協	地域
1：市内に特別養護老人ホームが少ない	<ul style="list-style-type: none"> ・特養も含めた介護（福祉）の拠点ができるといい 		
2：老々家族が増えてきた	<ul style="list-style-type: none"> ・介護手帳 ・民生委員さんが中心となって支援が必要な人を福祉につなぐ 	<ul style="list-style-type: none"> ・生活支援、買い物支援が必要（ボランティア、社協、民間（移動販売）） ・顔見知り程度では声がかげにくい。オープンに話せるには？ 	<ul style="list-style-type: none"> ・65歳以上は民生委員が年1回訪問しているが、それだけでは不足。地域での相談役みたいなシステムがあれば ・（ ）が訪問して相談できる機会を増やす。月に1回程度でも ・地域で協力、連携できるような仕組み作り、地域の福祉相談役を置くなど
3：介護タクシー事業者が1つしかない	<ul style="list-style-type: none"> ・タクシー利用しやすくする→タクシー補助券 ・市と介護タクシー事業者の連携→高齢者の外出促進 ・小回りのきく市のバスを取り入れる 		

Aグループ

【教育】

課題	課題解決のアイデア	
	あま市	社協
1：ボランティアで活動する時の資金の心配		・募金の設立（社会福祉協議会）
2：義務教育後の支援先	<ul style="list-style-type: none"> ・部活動の指導者が少ない、指導の資格がなくても一緒に遊んであげるだけでよい ・ヤングケアラー問題があるが、義務教育後もそれは続くので受け皿の整備が必要 ・市が市民の活動団体（詳細）を知り、必要に応じて委託する 	
3：不登校の増加（低年齢化）	<ul style="list-style-type: none"> ・先生、カウンセラーの増員 ・フリースクールや家でも遊べる仕組みがあってもいいのでは ・市が補助金を出す ・市が市民の活動団体（詳細）を知り、必要に応じて委託する 	
4：学生が家以外で勉強できる場がない	<ul style="list-style-type: none"> ・公共施設の空き室の利活用を考えてはどうか ・市が市民の活動団体（詳細）を知り、必要に応じて委託する ・図書館が開放しているので周知させる ・公共施設の無料開放。ただし、管理団体は必要 	
5：教育、福祉と民間との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・市が市民の活動団体（詳細）を知り、必要に応じて委託する 	

Aグループ

【環境整備】

課題	課題解決のアイデア	
	あま市	自治会
1：道路整備	<ul style="list-style-type: none"> ・デジタル投書箱。写真・動画（位置情報）。パトロール隊。犬の散歩、ウォーキング、見守り。車、自転車、腕章、タグにステッカー ・道路整備の不備な点を住民に挙げてもらいやすくする ・歩道がせまく歩きにくい。特に木田駅に通じる南北線。歩道部分をせめて水平にしてみたらどうか 	<ul style="list-style-type: none"> ・インフラ整備（フラット化）（市、自治会、ボランティア、水路清掃）
2：子どもの遊んでいる声が聞こえない	<ul style="list-style-type: none"> ・デジタル投書箱。写真・動画（位置情報）。パトロール隊。犬の散歩、ウォーキング、見守り。車、自転車、腕章、タグにステッカー ・大型公園の整備。津島東公園や天王川公園、戸田川緑地くらいの規模。室内の子供が遊べる施設 	<ul style="list-style-type: none"> ・公園の整備をする。草刈り、ペンキ塗り等、魅力のある公園
3：子どもをほとんど見かけない	<ul style="list-style-type: none"> ・デジタル投書箱。写真・動画（位置情報）。パトロール隊。犬の散歩、ウォーキング、見守り。車、自転車、腕章、タグにステッカー ・大型公園の整備。津島東公園や天王川公園、戸田川緑地くらいの規模。室内の子供が遊べる施設 	<ul style="list-style-type: none"> ・公園の整備をする。草刈り、ペンキ塗り等、魅力のある公園
4：外灯が少ない	<ul style="list-style-type: none"> ・デジタル投書箱。写真・動画（位置情報）。パトロール隊。犬の散歩、ウォーキング、見守り。車、自転車、腕章、タグにステッカー ・外灯の設置を町内会に頼っている現状を市になんとかして欲しい 	<ul style="list-style-type: none"> ・インフラ整備（フラット化）（市、自治会、ボランティア、水路清掃）
5：水路の清掃		<ul style="list-style-type: none"> ・インフラ整備（フラット化）（市、自治会、ボランティア、水路清掃）
6：近所に子どもたちが安心して遊べる場所がない	<ul style="list-style-type: none"> ・大型公園の整備。津島東公園や天王川公園、戸田川緑地くらいの規模。室内の子供が遊べる施設 ・公園でボール遊びが出来ないところが多い。一部でも確保してあげるとよい 	
7：住む人が利用しやすい交通手段	<ul style="list-style-type: none"> ・介護タクシーやタクシー事業者との連携で高齢者も利用しやすい交通手段の構築 ・市役所が1カ所になり高齢の方や車がない方は不安に思っている。市内巡行バスの利用の方法を変えてみてはどうか 	
8：通学路が危険	<ul style="list-style-type: none"> ・デジタル投書箱。写真・動画（位置情報）。パトロール隊。犬の散歩、ウォーキング、見守り。車、自転車、腕章、タグにステッカー 	
9：大型の公園が少ない（他の市に遊びに行く）	<ul style="list-style-type: none"> ・大型公園の整備。津島東公園や天王川公園、戸田川緑地くらいの規模。室内の子供が遊べる施設 	

Aグループ

課題	課題解決のアイデア	
	あま市	自治会
10: 散歩している時にカラスがいると通りづらい	・デジタル投書箱。写真・動画（位置情報）。パトロール隊。犬の散歩、ウォーキング、見守り。車、自転車、腕章、タグにステッカー	
11: 地域の祭り(学校の夏祭り)などがない	・地域で実施できる団体へ依頼、市も協力	

Bグループ

【障がい】

課題	課題解決のアイデア		
	あま市	住民	病院
1：障がい者（児）の病院受診のハードルが高い	<ul style="list-style-type: none"> ・現在の巡回バスをダイヤモンド化し高齢者や障がい者が必要な時にサービスを受けられるようにする ・配慮していただける病院に対してステッカーなどわかりやすい表示をしてもらう ・市役所、あま市民病院のスキルUP。体制強化 		<ul style="list-style-type: none"> ・地域の病院の方々に障がい特性を学んでいただき、受診時間の配慮など受け入れ体制を考えていただきたい ・専門の病院を作る。専門の Dr. を地域で確保する ・必要な人が必要な時に受けられるように多く用意する
2：必要な支援が障害の種別によって受けられない事がある（オムツ・車いす等）	<ul style="list-style-type: none"> ・支援の対象を広げる（障がいの名前ではなく実際の困りごとに対して支援） ・支援を利用できない個別事例への補助 ・地域によって市役所に差がある ・他市町村の情報収集やヒアリングをして課題に目を向けることから始める 		
3：支援級の指導学校によって、先生によって差がある	<ul style="list-style-type: none"> ・支援級の先生が同じように指導出来るよう、先生を指導する場、機会を設ける ・支援級の先生方をサポートする体制を整える ・スーパーバイザーを障がいに詳しい方にやってもらう 		
4：登下校に親のつきそいが必要な場面のサポートが不十分	<ul style="list-style-type: none"> ・支援を利用できない個別事例への補助 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報公開があったらボランティア参加できるのでは ・「移動支援」を通学に使えるようにする 	
5：その他		<ul style="list-style-type: none"> ・障害がある人の実際を健常者が体験する機会をもつ 	

Bグループ

【子育て】

課題	課題解決のアイデア		
	あま市	住民	未分類
1：引きこもりの方の対処	<ul style="list-style-type: none"> ・フリースクールなど学校以外の居場所を作る。それに対する予算をつける ・ピアサポーターの養成 ・経験者によるサポートシステムの構築 		
3：午前中、公園に人が少ない	<ul style="list-style-type: none"> ・市役所、社会福祉協議会 図書館などの必要性の再確認 ・安全性の問題やなぜ今機能しないのかヒアリングが必要かも ・行きたくなるような公園を作る ・児童公園の充実 ・市の担当課を一本化する（現在は複数ある） 		
4：公園が機能していない	<ul style="list-style-type: none"> ・公園を子どもだけでなく、高齢者も使える運動できる場にしていただきたい ・市役所、社会福祉協議会 図書館などの必要性の再確認 ・安全性の問題やなぜ今機能しないのかヒアリングが必要かも ・公園の整備、草むしり、遊具、日陰、安全性 ・中央公園を作る。健常者、障害者も利用できる公園 ・児童公園の充実 ・市の担当課を一本化する（現在は複数ある） 		
5：母子ともに友達を作れない（作らない）	<ul style="list-style-type: none"> ・例えば児童館ではこんなことをしているよ！！宣伝をもっとする ・プレママ期からの交流機会を提供 ・保護者に対するカウンセリング、メンタルサポートの充実、強化 	<ul style="list-style-type: none"> ・SNSでつながるシステムを作る（現在あるかはわからないけど） ・同じ年の生まれのSNSグループを作るとか？ 	

Bグループ

課題	課題解決のアイデア		
	あま市	住民	未分類
6: 不登校(あま市における)の学びをとにかくとめない(至急) →それは必ず近い未来がかわる事	<ul style="list-style-type: none"> ・もはやどうしたら学校へ行けるか、行かせるかは議論外。小、中学生の不登校生の学びを止めないオンラインのスクールを一刻も早く作るべき。国が動かないなら是非あま市が ・市役所または社会福祉協議会による居場所作り、専門職の配置、金銭の補助 ・フリースクールに通う家庭に費用の助成をする ・オンライン授業、専門性のある教育、機会の提供 		<ul style="list-style-type: none"> ・成績表、テストなど他人比較のないスクール(学びの場)を作ることにより、子どもを色んな選択、自己肯定ができる場所で成長させることができる。あま市を移住、定住に決める人も多くなるのでは
7: 10年後、20年後のあま市における「子育てしやすい」「結婚して住みやすい」地域であるには	<ul style="list-style-type: none"> ・課題ではなくプラス面の発信 ・フリースクールに通う家庭に費用の助成をする 		<ul style="list-style-type: none"> ・成績表、テストなど他人比較のないスクール(学びの場)を作ることにより、子どもを色んな選択、自己肯定ができる場所で成長させることができる。あま市を移住、定住に決める人も多くなるのでは
8: 小・中学生不登校における、そして保護者に寄り添う支援・活動(あま市の未来につながる)	<ul style="list-style-type: none"> ・もはやどうしたら学校へ行けるか、行かせるかは議論外。小、中学生の不登校生の学びを止めないオンラインのスクールを一刻も早く作るべき。国が動かないなら是非あま市が ・市役所または社会福祉協議会による居場所作り、専門職の配置、金銭の補助 		<ul style="list-style-type: none"> ・成績表、テストなど他人比較のないスクール(学びの場)を作ることにより、子どもを色んな選択、自己肯定ができる場所で成長させることができる。あま市を移住、定住に決める人も多くなるのでは

Bグループ

【高齢化】

課題	課題解決のアイデア		
	あま市	住民	未分類
1：高齢者の方から一人で買い物に行くことができないと聞いたことがある	<ul style="list-style-type: none"> ・現在の巡回バスをディマンド化し高齢者や障がい者が必要な時にサービスを受けられるようにする ・買い物ボランティアさんの確保 ・タクシーを安く利用できる ・ネットスーパーなどのサービスの利用支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・伊福地区ではボランティアが同行するとか、かわりに買い物するとか実施している。他の地区でも実施 ・ご近所付き合い（自助努力）の推奨 	
2：高齢者の一人暮らしの方の安否確認	<ul style="list-style-type: none"> ・対象の方々をもう少ししぼって支援を行う（65歳からは早すぎるのでは？） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ご近所付き合い（自助努力）の推奨 ・老人会が行っている。皆様に周知されていない 	
3：民生委員として、担当の高齢者の方々が多すぎて、本当に支援が必要な方のサポートが不十分	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の多い地域は民生委員の数を増やし、担当人数を減らす ・高齢福祉課からの確かな情報をもらい、本当に必要な人が支援を受けられるようにする ・対象の方々をもう少ししぼって支援を行う（65歳からは早すぎるのでは？） 		
4：高齢化が進んでいる		<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者同士が気楽に楽しめる場所を作る ・そもそも全国的に課題 ・ボランティア、サークル等にたくさん参加してもらい生きがいを見つける ・若い住人とお年寄りが交流できる機会。地域で交流できる行事。お互いを理解できるように 	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢化によるサポート世代のメンタルケアのサポート
6：生活様式が多様化		<ul style="list-style-type: none"> ・若い住人とお年寄りが交流できる機会。地域で交流できる行事。お互いを理解できるように 	
7：挨拶をしても無視される若い人		<ul style="list-style-type: none"> ・地域市民、めげない、怪我をしない程度に言い続ける ・高齢者たちのカフェのような催しに母子で参加できるようにする ・若い住人とお年寄りが交流できる機会。地域で交流できる行事。お互いを理解できるように 	

Bグループ

【ボランティア・情報入手】

課題	課題解決のアイデア				
	あま市	住民	社協	団体	地域
1：年代を超えた交流をもてる居場所作り	・市役所内にボランティアが気楽に集まれる場所を作っては？				
2：地域活動の参加者が少ない	・お金をかけてでも周知を委託する			・出来ることはして、別団体にもアドバイスを求める	
3：ボランティアに参加してくれる方が少ない	・お金をかけてでも周知を委託する ・ボランティアという言葉はハードルが高いため、「～をしてくれる方募集」というようなハードルを下げた文句で地域の掲示板等(皆さんの目にとまる所)を活用する。		・60歳、65歳になった方々にボランティアや地域の活動などを案内する ・あまのわで楽しいブースと共にボランティアを募る	・出来ることはして、別団体にもアドバイスを求める	・障害者の避難所がないため受け入れ先の指定が必要である
4：ボランティアの募集方法がわからない	・お金をかけてでも周知を委託する			・出来ることはして、別団体にもアドバイスを求める	
5：誰もが気軽に立ち回れる居場所作り(市の運営するレストラン・カフェ・子ども食堂)	・市役所内にボランティアが気楽に集まれる場所を作っては？				
6：地域の活動に対し、若い人の参加が少ない		・中学生の子供たちに企画から任せるイベントをする。子供のうちから地域活動に参加させて「楽しい」経験をさせる			

Bグループ

課題	課題解決のアイデア				
	あま市	住民	社協	団体	地域
7：ボランティアのなり手が少ない	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアという言葉はハードルが高いため、「～をしてくれる方募集」というようなハードルを下げた文句で地域の掲示板等(皆さんの目にとまる所)を活用する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・何かお得があれば参加したい。ある市で使用できるポイント、ゴミ袋等 	<ul style="list-style-type: none"> ・60歳、65歳になった方々にボランティアや地域の活動などを案内する 		
8：ボランティア活動等参加したいがどこで情報をもらうのかわかっていない	<ul style="list-style-type: none"> ・情報ツールをわかりやすくもう一度見直してもらう ・お金をかけてでも周知を委託する 			<ul style="list-style-type: none"> ・出来ることはして、別団体にもアドバイスを求める 	
9：生活支援の受け方。どこまで公的に受けられるのか	<ul style="list-style-type: none"> ・支援を受けたい、困り事がある方の総合窓口があると気軽に相談出来そう。「～で困っている」→相談にのってもらえる場所を教えてくれる 				

Bグループ

課題	課題解決のアイデア				
	あま市	住民	社協	団体	地域
10: 情報が分散してどれも・・・	<ul style="list-style-type: none"> ・市役所にカフェなどもっと人が来られる場所を作ってそこでの発信をする ・情報ツールをわかりやすくもう一度見直してもらう ・お金をかけてでも周知を委託する ・支援を受けたい、困り事がある方の総合窓口があると気軽に相談出来そう。「～で困っている」→相談にのってもらえる場所を教えてください 			<ul style="list-style-type: none"> ・出来ることはして、別団体にもアドバイスを求める 	
11: 情報を知る機会が少ない	<ul style="list-style-type: none"> ・情報ツールをわかりやすくもう一度見直してもらう ・お金をかけてでも周知を委託する 			<ul style="list-style-type: none"> ・出来ることはして、別団体にもアドバイスを求める 	
12: 小学校(甚目寺東学区)スクールガードの交通指導員を多くしてほしい	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校、スクール、ガード交通指導員を多くしてほしい(甚目寺東小学校) 				

Bグループ

課題	課題解決のアイデア				
	あま市	住民	社協	団体	地域
13：困った時に相談できる場所がわからない	<ul style="list-style-type: none"> ・まずはここに相談するという窓口をつくり、そこから担当課へつなげる ・支援を受けたい、困り事がある方の総合窓口があると気軽に相談出来そう。「～で困っている」→相談にのってもらえる場所を教えてください 				
14：支援のすきま（少数の困っている人をどうするか？）	<ul style="list-style-type: none"> ・各事業・支援の基本はそのままにすきまのみ対応できる臨機応変な仕組みを作る 				
17：市役所が一本化。市民の皆様、遠くなった方もいるのでは？	<ul style="list-style-type: none"> ・コンビニで各書類をとることができるが良い 				
18：情報を得る方法	<ul style="list-style-type: none"> ・市役所にカフェなどもっと人が来られる場所を作ってそこでの発信をする ・情報ツールをわかりやすくもう一度見直してもらう ・皆が平等に情報を得られるのは「公報」だと思うので、積極的に情報発信して欲しい ・情報を得る方法 ・お金をかけてでも周知を委託する 			<ul style="list-style-type: none"> ・出来ることはして、別団体にもアドバイスを求める 	

Bグループ

【災害・防災】

課題	課題解決のアイデア		
	あま市	団体	地域
1：あま市の災害時の備蓄品はどう？	・団体への予算を検討してほしい	・どれくらい可能なのか現状を報告し整理する	・備蓄品は1人1合であるが、量の確保ならびに備蓄の場所がないので指定業者を作りいざとなったらそこから出してもらう
2：障害者の避難計画ができていない	<ul style="list-style-type: none"> ・行政、福祉防災専門家、当事者で話し合う場を作る ・避難マニュアルが分厚いので見やすい一覧表にしてどこにでも張れるようにしては ・一刻も早く福祉避難所を地域で確保し、障害者、障害児への災害対策を立てて欲しい（安全な避難経路含めて） 		
3：福祉避難所がない	<ul style="list-style-type: none"> ・行政、福祉防災専門家、当事者で話し合う場を作る ・避難マニュアルが分厚いので見やすい一覧表にしてどこにでも張れるようにしては ・一刻も早く福祉避難所を地域で確保し、障害者、障害児への災害対策を立てて欲しい（安全な避難経路含めて） ・福祉避難所、検討委員会、この様に集って会議してみてもは？ 		
4：夜道が暗い	<ul style="list-style-type: none"> ・どんどん危険なところは整備 ・甚目寺は町内に入っている人が多いため、「ガイトウ」の費用が少ない 町内に入る人が多くなる様に市に協力をお願いします 		
5：歩道が狭く危ない	<ul style="list-style-type: none"> ・歩道が狭く危ない ・どんどん危険なところは整備 		
6：障害者（児）の災害対策が不十分	<ul style="list-style-type: none"> ・行政、福祉防災専門家、当事者で話し合う場を作る ・一刻も早く福祉避難所を地域で確保し、障害者、障害児への災害対策を立てて欲しい（安全な避難経路含めて） ・障害者の方々の調査を復活させる 		

Cグループ

【防災】

課題	課題解決のアイデア		
	あま市	住民	未分類
1: 災害時、区域に置かれた状況をいち早く知らせるにはどうしていくのが良いのか	<ul style="list-style-type: none"> ・区できずなネットを入れて情報網をつくろうとしているが、加入が進まない。お金かかる。→市の防災情報メールを区独自で活用できる様にできないか。 		<ul style="list-style-type: none"> ・定期的な訓練 避難場所をしっかりと周知
2: 防災訓練をやって自主防災を広げてゆくこと	<ul style="list-style-type: none"> ・行政に対して区長や自主防にまかせず協同（働）で行ってほしい ・自主防災という名の如く。あくまで自由。自主→温度差大→ある程度は市が主導するべきではないか。 ・市全体で自主防災懇談会等 市から各区へ仕掛をすべき (今はない!!) (活性化のために) 	<ul style="list-style-type: none"> ・連携は大事だが自治会の防災強化 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的な訓練 避難場所をしっかりと周知
3: 安心安全な地域づくり 災害時も含めて 犯罪			

Cグループ

課題	課題解決のアイデア		
	あま市	住民	未分類
4: 災害時、障害弱者対応計画の作成	<ul style="list-style-type: none"> ・行政へ、弱者がすごしやすい環境は一般市民もすごしやすい事とわかってほしい ・行政は、実態を知るためにヒアリングをしてほしい。当事者(色々な障がいの人達の) ・避難先の詳しいマップと設備について ・個人情報の取り扱いがわからず手つかずの状態。また自主⇄民生でお見合い。 →市がモデル活動を(主導で)いっしょにやる →障害者自身の意志を出す(押し付けにならないように) ・市防災会議に障がい者の方も参加するべき 	<ul style="list-style-type: none"> ・前もって計画をする 	<ul style="list-style-type: none"> ・当事者の現場視察 ・当事者も言うだけではなく実行を。お互い歩みより ・冊子があります。「障害がある方たちの災害24時」 ・障害の把握(だれ・どこに・どの程度の援助する人がいるか)。いざというとき地域が協力して助けられる様に
5: 災害時、自主防災会が安全に区民を避難誘導できるようにするにはどうするか		<ul style="list-style-type: none"> ・連携は大事だが自治会の防災強化 ・もうすでにやってみえる所がある 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的な訓練 避難場所をしっかりと周知
6: 個人名簿の取りあつかいについての誤解	<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報の取り扱いがわからず手つかずの状態。また自主⇄民生でお見合い。 →市がモデル活動を(主導で)いっしょにやる →障害者自身の意志を出す(押し付けにならないように) ・当事者も、希望を言えるようにする 	<ul style="list-style-type: none"> ・せめて、町内会長(自主防災会長)だけには、名簿保管させてほしい 	

Cグループ

課題	課題解決のアイデア		
	あま市	住民	未分類
7: 災害時、外国人 対応計画への 明瞭化（犯罪 に対し）	<ul style="list-style-type: none"> ・外国籍の方がどこにどのくらい暮らしているのかわからない。調べる方法もない。（個人情報）→せめてどこにどれだけいるか。まず、把握すべき。（市から公開） 		
8: 災害時に不安 を抱える人への 支援（保健 センターまで 行けない）	<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報の取り扱いがわからず手つかずの状態。また自主⇔民生でお見合い。 →市がモデル活動を（主導で）いっしょにやる →障害者自身の意志を出す（押し付けにならないように） 		<ul style="list-style-type: none"> ・障害の把握（だれ・どこに・どの程度の援助する人がいるか）。いざというとき地域が協力して助けられる様に
9: 災害時、市村本 部と区災害対 策本部が連携 して動けるよ うにするには	<ul style="list-style-type: none"> ・自主防災という名の如く。あくまで自由。自主→温度差大→ある程度は市が主導するべきではないか。 ・市全体で自主防災懇談会等 市から各区へ仕掛をすべき（今はない！！） (活性化のために) 	<ul style="list-style-type: none"> ・連携は大事だが自治会の防災強化 ・自分の地域にて有資格者を探しておく 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的な訓練 避難場所をしっかりと周知
10: 障がいのある 方の災害時の 支援の少なさ	<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報の取り扱いがわからず手つかずの状態。また自主⇔民生でお見合い。 →市がモデル活動を（主導で）いっしょにやる →障害者自身の意志を出す（押し付けにならないように） 		<ul style="list-style-type: none"> ・障害の把握（だれ・どこに・どの程度の援助する人がいるか）。いざというとき地域が協力して助けられる様に ・定期的な訓練 避難場所をしっかりと周知

Cグループ

課題	課題解決のアイデア		
	あま市	住民	未分類
11：災害時の障害者の避難場所	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉避難所の設定をする。どこに避難したら良いか？自助 ・行政は、実態を知るためにヒアリングをしてほしい。当事者（色々な障がいの人達の） ・計画は進んでいるでしょうか。 		<ul style="list-style-type: none"> ・当事者の現場視察 ・障害の把握（だれ・どこに・どの程度の援助する人がいるか）。いざというとき地域が協力して助けられる様に ・定期的な訓練 避難場所をしっかりと周知

Cグループ

【学校】

課題	課題解決のアイデア		
	あま市	住民	未分類
1：学校の先生の理解のなさ	・専門の先生の配置		・先生の研修をもっと行うべきです
2：外国籍の子(発達障害児)への対応のなさ			
3：学齢の不登校が増えていること	・スクールサポーターがいるが知識のない人がいる。一定の知識(レベル up を)障がいに対して		・現場の先生へ、いけない事を子どもだけの理由にしないでほしい ・美和・七宝・甚目寺でひとりずつ→甚目寺観音近くにある
4：フリースクールがないこと	・スクールサポーターがいるが知識のない人がいる。一定の知識(レベル up を)障がいに対して		・現場の先生へ、いけない事を子どもだけの理由にしないでほしい ・美和・七宝・甚目寺でひとりずつ→甚目寺観音近くにある
5：朝、通学を安全にできる様に地域を見守ること			
6：通級指導教室の使いにくさ	・スクールサポーターがいるが知識のない人がいる。一定の知識(レベル up を)障がいに対して		・美和・七宝・甚目寺でひとりずつ→甚目寺観音近くにある
7：柔軟に対応できない学校のシステム			
		・地域のサポートを増やす	・支援員を増やす。3限で帰ってしまう。→最後まで欲しい ・校長先生の意識を改革

Cグループ

【障がい福祉】

課題	課題解決のアイデア		
	あま市	団体	未分類
1：障害児への偏見			<ul style="list-style-type: none"> ・幼・小学校での知識 ・インクルーシブ教育の充実。地域の学校にかよえる環境作り ・障がい者 就労
2：障がい者についての知識・認識不足			<ul style="list-style-type: none"> ・幼・小学校での知識 ・コミュニケーションの場を作る（子どもの身体障がい者とあそぶ場） ・援助の仕方。手助けが出来ない ・個別に行って支援する 精神障がい者に対する理解がない
3：障害者が落ち着いて食事ができるところがない		<ul style="list-style-type: none"> ・こども食堂、民間で立ち上がろうとしているところへの支援をしてほしい。場所、お金 etc（協力団体） ・保護者の団体へ若い子達も同じ悩みなので先輩として、できる事は協力してほしい 	
4：障がいサービスでもなく介護サービスでもなく…	<ul style="list-style-type: none"> ・障害者のサポートを伝えてゆく。受けられるサービスを周知する。他の市町村と比較すると差がある。 		<ul style="list-style-type: none"> ・障から介護サービス後行 65 歳問題
5：老障介護	<ul style="list-style-type: none"> ・障害者のサポートを伝えてゆく。受けられるサービスを周知する。他の市町村と比較すると差がある。 ・行政へ、待ったなしの課題である。本人からの SOS は出しにくい 		

Cグループ

課題	課題解決のアイデア		
	あま市	団体	未分類
6：福祉サービスにのれない学齢児	・独自のサービスを考えてほしい	・独自のサービスを考えてほしい	
7：精神障がい者への支援が十分でない	・障害者のサポートを伝えてゆく。受けられるサービスを周知する。他の市町村と比較すると差がある。		・個別に行って支援する 精神障がい者に対する理解がない
			・障がい福祉マップ 海部東部 認知少ない

Cグループ

【子ども】

課題	課題解決のアイデア			
	あま市	住民	団体	未分類
1：子育て世代のサポート（安心して働ける）		・子育て世代の孤立をさせない交流を。こどもまつりの企画をしては		・情報発信 キャッチする人でできない人いる
2：ネグレクト	・保健師、行政へ、市民・学校からの情報が入ったらすぐに確認してほしい	・子育て世代の孤立をさせない交流を。こどもまつりの企画をしては	・保健師、行政へ、市民・学校からの情報が入ったらすぐに確認してほしい	
3：小児がんの子どもへの対応の悪さ	・関係者（団体、行政 保健師 etc.）実情を知る事。当事者からの聞きとり		・関係者（団体、行政 保健師 etc.）実情を知る事。当事者からの聞きとり ・交流会を作り、専門家がサポートして支援を広げてゆく	
4：医療ケア児への支援がないこと	・行政へ個人情報で片づけず地域に発信して助けてくれる人を見つけてほしい。（国の方針は義務…）		・交流会を作り、専門家がサポートして支援を広げてゆく	
5：児童館 開館～19時まで				・公民館、空き家活用 一大家とのマッチング
6：子ども・乳幼児のためのカーペットの部屋				・公民館、空き家活用 一大家とのマッチング

Cグループ

課題	課題解決のアイデア			
	あま市	住民	団体	未分類
7：大人のサロンは多いが子どものサロン		<ul style="list-style-type: none"> ・子育て世代の孤立をさせない交流を。こどもまつりの企画としては ・民間・ボランティアとの協働（助成金） 		<ul style="list-style-type: none"> ・子どものサロンを作る。（土・日月1回）行政のサポートと高齢者で ・大人のサロンに幼児も参加する会をつくる ・公民館、空き家活用 一大家とのマッチング
8：病児・病後保育～17時までを19時まで				
9：学童保育施設見直し				
10：日・祝子どもが集まれるところ		<ul style="list-style-type: none"> ・子供会・老人会の連携 昔の遊び等 ・民間・ボランティアとの協働（助成金） 	<ul style="list-style-type: none"> ・子供会・老人会の連携 昔の遊び等 	
11：病児・病後児保育定員を増やす				
12：学童保育定員見直し				
13：ヘルプを出せない家				<ul style="list-style-type: none"> ・ヘルプをキャッチしたら民生委員に伝えて下さい。

Cグループ

【高齢者】

課題	課題解決のアイデア	
	あま市	住民
1：夏まつりを楽しみにしている高齢者に盆おどりを務めてほしい	・夏まつり・アートビレッジ型「あまつり」・市役所型をやる第3セクター	
2：元気な高齢者の活動場所がない	・介護保険の使用により、元気なデイを運営する ・サロンはたくさんあるが自分ちの近くにない ・活動場所 各小学校で行う	
3：高齢者のACP（アドバンス・ケア・プランニング）が行きわたっていない		
4：独り暮らしの人の支援	どんな支援をしてほしいか聞き取り 民生？ ・（移動手段）高齢者の足の確保に対する地域の人による活動の奨励補助金の支給を考えてほしい	
5：健康づくり心・体	・活動場所 各小学校で行う	
6：（嫁・配偶者）介護している人のサポート	・介護サービスに入っているなら、そこからの情報提供	
7：老々介護サポート		
8：高齢者の生きがいとは…（自立の人のサポート）	・サロンはたくさんあるが自分ちの近くにない ・高齢者の生きがいは様々。ちょっとした●●（コーヒー代）でもコミュニティの建物が使える様にしてほしい	

Cグループ

課題	課題解決のアイデア	
	あま市	住民
9：子どもと高齢者の方が遊べること（障がいを持っている方々も）	<ul style="list-style-type: none"> ・老若男女のサロン+障がいの方 場所時間 ・小学校・中学校の体育館 多年齢層で遊ぶ 	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども食堂に高齢者も同時に招待して昔話などしてほしい ・こども食堂のような感じの場所 空家の活用
10：高齢者の見守り 早期に体の変化を見つければ重症化しない		<ul style="list-style-type: none"> ・地域でのコミュニケーションがとれる場所をつくる インフルエンサー（住民）

Cグループ

【外国人】

課題	課題解決のアイデア	
	あま市	住民
1：外国人の方の災害時のチラシ	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会へ情報ください 	
2：外国人の人への支援（壁がある）文化の違いが不安	<ul style="list-style-type: none"> ・どこの国で何語か情報 ・自治会へ情報ください 	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティーをさがしてアプローチをしていく ・まずはあいさつをする→顔を覚える
3：外国人への災害時の避難行動支援が気になる	<ul style="list-style-type: none"> ・学校から地域防災訓練のお知らせを配布してもらう ・他の地域より遅れている 早急にしてほしい ・自治会へ情報ください ・どこにどれだけの外国人がいるのか開示して頂きたい (会社関係のまとめ役等) 	

Cグループ

【引きこもり】

課題	課題解決のアイデア
	あま市
1：引きこもりの方に相談支援が必要	<ul style="list-style-type: none">・何をしてほしいか関わり方分からない・いろいろな団体がある　そこに行けない方の支援・本人より周りの方への支援・個別に行って支援する　相談支援する
2：引きこもり	<ul style="list-style-type: none">・不登校への柔軟な対応・引きこもりをつくらないためのアイデアを行政、民間、本人で話し合う・学校で協力してつくらないようにする・何をしてほしいか関わり方分からない・いろいろな団体がある　そこに行けない方の支援・引きこもり気になっても出てきてくれない。行政が行うしかない。

Cグループ

【ボランティア】

課題	課題解決のアイデア	
	あま市	住民
1：上萱津地区コミュニティ協議会の活性化	<ul style="list-style-type: none"> ・ 何度も話しているのに協議しているのか？ ・ 社協・市民活動センター・コミュニティ 広報してほしい 	
2：各ボランティア団体への補助金がほしい	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1回/年、活動内容のプレゼンをして補助金等を出す ・ 何度も話しているのに協議しているのか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 民間・当事者の情報交換の場所があると良い
3：上萱津地区コミュニティ防災センターの活用度向上にはどうすれば良いのか	<ul style="list-style-type: none"> ・ 認知度を上げる ・ 何度も話しているのに協議しているのか？ ・ 社協・市民活動センター・コミュニティ 広報してほしい 	
4：ボランティア団体の部室	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1回/年、活動内容のプレゼンをして補助金等を出す ・ 何度も話しているのに協議しているのか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 民間・当事者の情報交換の場所があると良い
5：貸館 安くしてほしい	<ul style="list-style-type: none"> ・ 社協ボランティア団体が市民活動センターに登録してあれば同時に両方に登録される仕組み 仕組みができればすべて利用料を半額にする ・ 何度も話しているのに協議しているのか？ ・ コミュニティー等施設利用の制約条件が多い もっと気安く使える様にする（料金・用途） 	
6：認知症の家族に割引料金をあげる（毎日が戦いなので）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 介護保険とからむとお金が発生する ・ 何度も話しているのに協議しているのか？ 	

Cグループ

【公共サービス】

課題	課題解決のアイデア
	あま市
1：道路のデコボコ(車イス、ベビーカー 安全でない)	・道路整備
2：巡回バスに車イスの人は乗れるか？	・バスを小型にする 細かい送迎してほしい
3：巡回バスの利用のしにくさ	<ul style="list-style-type: none"> ・5～6人乗りの車の活用 ・バスを小型にする 細かい送迎してほしい ・バス 乗り方や説明の動画を作る ・バス 目的別のコース設定・買い物コース・市民病院コース
4：ボールあそびできる公園	<ul style="list-style-type: none"> ・ネットを高くする ・つながりは子供のときにボール遊びでつちかわれる可能性大→ボール遊びができる公園必要
5：高齢者の送迎バスが無い	
6：巡回バスの運行(現在週3回のみ→毎日運航)	<ul style="list-style-type: none"> ・バスを小型にする 細かい送迎してほしい ・バス 目的別のコース設定・買い物コース・市民病院コース